

NEWS RELEASE

2017年7月31日
株式会社三菱総合研究所

2017年4-6月期 GDP 1次速報予測

株式会社三菱総合研究所(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:森崎孝)は、内閣府より8月14日(月)に公表予定の2017年4-6月期のGDP速報(1次QE)について予測を行った。

2017年4-6月期の実質GDPは、季節調整済前期比+0.5%(年率+1.8%)と6四半期連続のプラス成長を予測する。輸出の増勢は一服も、消費や設備投資など内需を中心とする成長持続を予想する。

消費は、良好な所得環境や消費者マインドの改善を背景に、自動車をはじめ耐久消費財に持ち直しの動きがみられるほか、気温が平年より高めに推移したことなどから電気代も増加しており、同+0.3%と6四半期連続の増加を予測する。設備投資は、設備稼働率の上昇や人手不足による自動化・省力化ニーズの強まりなどを背景に、同+0.6%と3四半期連続の増加を見込む。民間在庫は、需要回復を背景に前向きな在庫積み増し局面に入っているとみられ、同+0.2%pのプラス寄与を予測する。公的固定資本形成は、2016年度の大型経済対策(第2次補正予算)の執行本格化などから同+7.5%と高い伸びを見込む。

輸出は、欧米向けは堅調に推移しているものの、アジア向けは電子部品や半導体製造装置の輸出増加に一服感がみられることから、高水準ながらも4四半期ぶりの減少を予測する。一方、輸入は、内需の持ち直しを背景に同+2.5%と高い伸びが見込まれる。結果として外需の寄与度は同▲0.5%pの大幅なマイナスを予測する。

表 2017年4-6月期 GDP速報 予測結果

単位：断りがない限り 季調済前期比(%)		2016年		2017年	
		7-9月期 実績	10-12月期 実績	1-3月期 実績	4-6月期 予測
実質GDP	季調済前期比年率	0.3 (1.0)	0.3 (1.4)	0.3 (1.0)	0.5 (1.8)
民間最終消費		0.4	0.0	0.3	0.3
民間住宅投資		2.6	0.2	0.3	2.0
民間企業設備投資		▲0.2	1.9	0.6	0.6
民間在庫	寄与度	▲0.3	▲0.2	▲0.1	0.2
政府最終消費		0.2	0.0	0.0	0.1
公的固定資本形成		▲1.3	▲3.0	▲0.1	7.5
財・サービス輸出		1.9	3.4	2.1	▲0.4
財・サービス輸入		▲0.2	1.3	1.4	2.5
内需	寄与度	▲0.1	0.0	0.1	0.9
民需	寄与度	▲0.1	0.1	0.1	0.6
公需	寄与度	0.0	▲0.1	0.0	0.4
外需	寄与度	0.4	0.4	0.1	▲0.5
名目GDP	季調済前期比年率	0.1 (0.3)	0.4 (1.6)	▲0.3 (▲1.2)	0.8 (3.2)
GDPデフレーター	前年同期比	▲0.1	0.0	▲0.8	▲0.3
国内需要デフレーター	前年同期比	▲0.8	▲0.3	0.0	0.3

注：既発表の実績値についても季節調整等に伴う遡及改定が行われる。
表中の実績値は、2017年1-3月期2次QEに基づく。シャドー部分が今回の予測値。
資料：実績は内閣府「国民経済計算」、予測は三菱総合研究所

本件に関するお問い合わせ先

株式会社三菱総合研究所 (<http://www.mri.co.jp/>)
〒100-8141 東京都千代田区永田町二丁目 10 番 3 号

【内容に関するお問い合わせ】

政策・経済研究センター 森重彰浩

電話:03-6705-6087 ファクシミリ:03-5157-2161 メール:morisige@mri.co.jp

【取材に関するお問い合わせ】

広報部 吉澤、渋谷、角田

電話:03-6705-6000 ファクシミリ:03-5157-2169 メール:media@mri.co.jp

本資料は、内閣府記者クラブおよび当社にてお付き合いのある記者の方々にもご案内しております。